

はもりあ

「はもりあ」とは造語で、女性と男性が協働という素敵な“ハーモニー”の奏でられる“中核エリア”という意味です。

平成18年10月に公募で決定した男女共同参画センターの愛称です。

2008年7月1日発行

女性センターから男女共同参画センターに名称変更して3年目。皆様、舌を噛まずに言っていただけのようにになりましたか？ 愛称「はもりあ四日市」のほうも覚えてくださいね！

4月から職員も入れ替わり、はもりあ四日市の中も掲示や受付方法など、皆様に利用していただきやすくするために少しずつ工夫を重ねています。ぜひ、はもりあ四日市へ遊びに来てください。いろいろな情報もいっぱいあります。



三重県内男女共同参画センター3館

& 2市連携映画祭2008開催中！！

三重県内には、男女共同参画推進のための活動拠点として、三重県男女共同参画センター(フレンテみえ)、鈴鹿市男女共同参画センター(ジェフリーすずか)、四日市市男女共同参画センター(はもりあ四日市)があります。今年度は、この3センターに加え、伊賀市、名張市が連携し、「三重県内男女共同参画センター3館&2市連携映画祭」を開催しています。この映画祭は、女性のチャレンジをテーマにした映画を毎週順番に上映することで、県内の男女共同参画意識を高めてもらうことを目的として実施しています。

6月7日にフレンテみえ、14日に伊賀市、21日に鈴鹿市、29日に名張市の上映が終了し、今月5日は、いよいよ総合会館で「筆子 その愛」を上映します。

当日券もございますので、ぜひ皆様お越しください。

筆子・その愛 - 天使のピアノ -

鹿鳴館の華から障がい児教育・福祉の先駆者となった石井筆子の生涯

若くして夫を亡くし、障がいがある娘を持つ母である筆子は、社会活動を精力的に行う中で「滝乃川学園」石井亮一と出会い、再婚する。筆子は、学園の子どもたちに無償の愛を捧げ、やがて「障がい児教育の母」と呼ばれるようになる……。

2006年/日本/119分

監督：山田火砂子 脚本：高田宏治 音楽：渡辺 俊幸

出演：常盤 貴子、市川 笑也、加藤 剛 ほか

日時 7月5日(土) 開場 13:00 上映 13:30~

会場 四日市市総合会館 8階視聴覚室

アフタートーク開催します。

映画終了後、映画を見て思ったことをみんなで話し合う「アフタートーク」を開催します。いろいろ思ったこと、感じたことを話してみませんか？



夏休みイベント情報

今年度、7・8月に、小学生を対象とした夏休みこども“さんかくカレッジ”を開催します。
ぜひ、ご参加ください。

自由研究をやっつけちゃおう！ ちょこっとさんかく教室

7月23日（水） 男女共同参画クイズと工作 10:00～12:00

8月9日（土） 男女共同参画クイズと工作 10:00～12:00

7月23日と8月9日は同じ内容です。

申込みは、7月17日（木）まで。



子どもが主役の料理教室

8月23日（土） ボールで混ぜて焼くだけ簡単ポテトグラタンなど。

10:00～13:00 **費用**1家族500円

申し込みは8月16日（土）まで。

申込方法

希望教室名・日付・住所・名前(ふりがな)・学年・電話番号・参加する保護者名を往復はがきで、
〒510-0093 四日市市本町9-8 はもりあ四日市 まで。

『ところで、“男女共同参画”って何？』

いまさらセンターの職員の方には聞きにくいんだけど・・・』

初めて、男女共同参画センターにいらっしゃる方、登録グループさんの行事に参加された方の素朴な声。。
はい、お答えします。

「男女共同参画」というのは、単なる「男女が一緒にいればいい」、「男女が仲良くしていればいい」ということではありません。人は、「男らしさ」、「女らしさ」というイメージにとらわれずに、一人ひとりが平等に扱われるべきであり、社会のあらゆる分野での活動に男女ともに参画し、ともに責任を担うという考え方です。

「参加」は、何か行事があったときなどに仲間として加わるという考え方ですが、「参画」には、物事の計画や決定の段階から参加し、対等な立場として意見を出しあい、そして、責任も分かち合うという、より積極的な意味があります。

なぜ、男女共同参画の考え方が必要かということ、これまでは「男は仕事、女は家庭」と言われるように、性別で役割分担が決められる傾向がありました。現在は、共働き家庭が増えましたが、男性が主な稼ぎ手で、女性はパート勤務で補足的収入という場合が多いのではないのでしょうか。また、男女がいっしょに働いている職場だとしても、男性は営業で外勤、女性は営業事務で内勤のように、性別で仕事を決められることもまだまだあります。



社会全体が性別で役割分担を決めることのない、男性も女性も能力に応じて力を発揮できる社会が私たちの目指す「男女共同参画社会」です。

つどいよっかいち 速報！！

今年度は、6名の実行委員さんに企画を担当していただいています。
毎月、「つどいよっかいち女と男実行委員会」で決定したことをこのコーナーで速報としてお知らせします。

期 日 10月25日(土曜日)
テーマ “ワーク・ライフ・バランス 仕事と暮らしのハーモニー
～市民、事業者と連携して～”
会 場 あさけプラザ

午後の講演会が決定しました！！

講師は、^{ささきつねお}佐々木常夫さん(株式会社東レ経営研究所 代表取締役社長)

東大経済学部卒業後、(株)東レに入社。順調にキャリアを重ねる一方、家庭では、自閉症の長男、年子の次男、年子の長女、そして肝臓病を患い、入退院を繰り返す中、うつ病を併発した妻と暮らす。妻に代わり、育児、家事をこなしながら、仕事への情熱を捨てず、現在のキャリアを築いてきた佐々木氏。「ワーク・ライフ・バランス」のモデルとして、高い関心を呼んでいる。

著書「ビッグツリー 私は仕事も家庭も決してあきらめない」

今月のおすすめ本

「忙しいパパのための子育てハッピーアドバイス」

「子育てハッピー」シリーズのパパ編。子どもはお父さんが大好き。お父さんも子どもが大好き。育児は楽しいし、育児に関われることは素敵なこと！

パパとして奮闘中の方、これからパパになる方におすすめの本です。

「キャリアアップとプライベートライフ

両立を目指す6つのステップ」

仕事のキャリアとプライベートな時間、両方とも大事。でも、現実は・・・。

両立していくためには、本当に大切なものを見極めて選択していく必要があります。見極め方、選択の仕方な

どのステップが書かれている本です。学生の方や両立したいと思っている会社員の方たちにおすすめの本です。



図書の貸出期間を1ヶ月間に変更しました。ご了承ください。

今月のキーワード

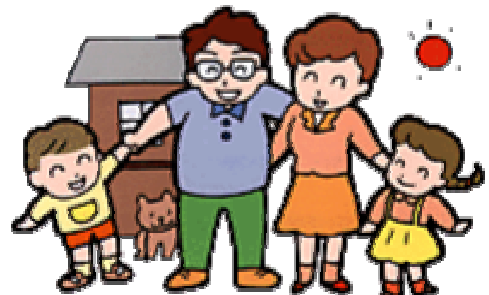
ワーク・ライフ・バランス

これは、直訳すると、「仕事と生活の調和」という意味です。

男性も女性もともに、仕事、家事(育児)、地域活動などさまざまな活動を自分の希望するペースで進められる社会を目指しましょうということです。

既婚者の仕事と家庭のバランスが話題に上がることが多いのですが、独身の方々ももちろんバランスをとる必要があります。

特に、男性は、仕事以外のことにもっと時間を使いたいと思っても、現実には、仕事優先になっていることが多いです。



登録グループイベント情報

7月10日(木) だめママクラブ「自分に聞きたいこと」

時 10:00～12:00 費 300円 所 はもりあ四日市(本町プラザ3階) こどものへや
問 ままたまご 水谷(080-5166-9864)

7月12日(土) 常磐男女共同参画をすすめる会 「寸劇と講演会」

寸劇「団塊の世代 退職後の夫婦の物語」

講演「知って得する 保険と年金」 講師：伊藤潤子氏(社会保険労務士)

時 13:30～15:00 費 無料 所 常磐地区市民センター 大会議室
問 常磐男女共同参画をすすめる会 飯田(352-2611)

7月26日(土) NPO法人 市民社会研究所 「大人のための共育ディベート」

テーマ『日本人の成人年齢は18歳にすべきである。(是か非か)』

時 13:30～16:30 費 無料 所 四日市大学9号館 3階 9306教室
問 NPO法人 市民社会研究所(363-3539)

7月27日(日) NPO法人 体験ひろば こどもスペース四日市

“たくましく生きぬいていく子どもが育つために...講演会とワークショップ...”

「子どもの目が輝くとき」Part.1 講師：和久洋三氏(童具館主宰)

『幼児期の主体的なあそびの大切さ、

子どもの主体を侵さない大人の関わり方など』について

講演会 10:00～12:00 定 150人 費 1000円

ワークショップ 13:00～15:00 定 20組 費 1800円 他 託児あり(事前予約必要)

問 NPO法人 体験ひろば こどもスペース四日市(321-0883)

はもりあ四日市 施設利用について

ミーティング・フロア、広報制作室以外のはもりあ四日市の施設を利用するには、「男女共同参画センター団体登録申込書」でのグループ登録が必要です。登録料は無料です。

施設利用申込は、はもりあ四日市に備え付けの所定の使用許可申請書に必要事項をご記入いただきます。受付は、はもりあ四日市の開館時間内のみとなります。

なお、電話などによる申込状況のお問合せはお受けいたしますが、電話では、予約及び申込内容の変更はお受けできませんので、ご了承ください。



四日市市男女共同参画センター (はもりあ四日市)

〒510-0093 四日市市本町9-8 本町プラザ3F

TEL.059-354-8331 FAX.059-354-8339

●開館時間 AM9:00～PM9:00

●休館日 日曜日、月曜日、祝日、年末年始

Eメール kyoudousankaku@city.yokkaichi.mie.jp

<http://www.city.yokkaichi.mie.jp/danjo/index.shtml>